

4 班

テーマ：地域の意識向上

「熟年パワーの活用」

目的：力が余っていて、お金も、経験も、やる気もある熟年パワーを活用する。地域の問題解決により地域が元気になる。

内容：地域コミュニティのリーダー育成・発掘（生活の中の困りごとお助け隊、子育て支援隊、老人よる技術の伝承隊）。

課題の原因：人間関係が希薄化。地域コミュニティの崩壊。

自治会の存在を市民にアピールし、行政とタイアップする方法を模索！

自治会が充実していれば、地域の課題の8割は解決できる。熟年の人たちをいかにまとめて、活躍の場を皆で探していくか、引き出していくかが問題。

5 班

テーマ：全ての土台である人材育成

「人材育成事業」

目的：コミュニティの確立（自治会組織活性化）。参加・参画・協働の推進。市民意識の向上。

内容：地域リーダー養成講座。年代別講座。女性のリーダー養成。

課題の原因：高齢化社会での担い手が不足し、地域活動が出来なくなっている。地域でのまちづくりや政策への参画が進まない。自治会組織活動が低調。

現在は多様な価値観が存在し、意見をまとめるのも大変。様々な課題を主体的に捉え、生活を豊かにしようとする市民の活動が増えてきている。その基となる人材育成を速やかに。

市民が、主体的に講座に参加し、勉強して地域に持ち帰り、活動の輪を広げる。まずは近隣の小さなコミュニティを確立し、全市に広げる。

18回の市民会議に勉強会、調整会議、地域フォーラムと本当にお疲れ様でした。住民自治に向けての多様な価値観を前提とした話し合い、各々の強みを生かした役割分担を意識して進めてきました。後半疲れるどころかますます活発になる委員の皆様、また活発な会議運営の支援者として動いてくれた事務局、まさに協働への一歩であったと実感します。この出会いの次なるステップを期待しています。

市 協働のまちづくり 市民会議



第18回

☆日 時☆

平成20年9月25日（木）
18：30～21：00

☆場 所☆

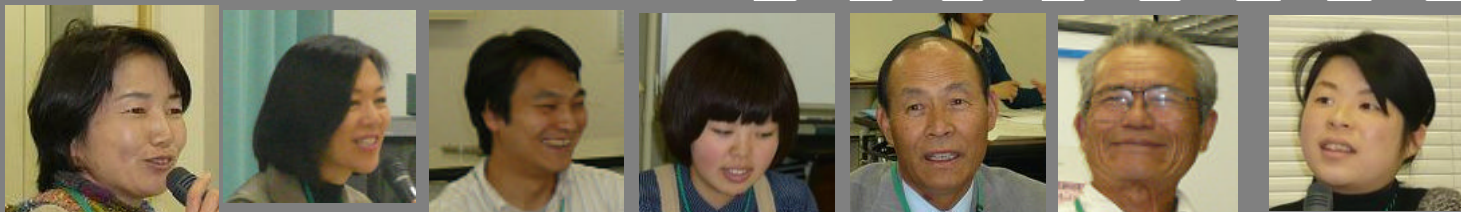
山口総合支所第10・11会議室

☆テーマ☆

『**提言書の確認**』

☆本日のプログラム☆

- 18：30 あいさつ・プログラム説明
- 18：35 前回の会議の振り返り
- 18：45 提言書について
（確認作業）
- 19：55 委員の思い発表
@2分×24人
- 20：45 今後のスケジュール
- 20：50 記念撮影
- 21：00 終了・アンケート記入



条例素案の提言がスタートであることは委員全員の思いです。今後「まちづくりの主役は市民」というメッセージを、どのように伝えていくかが大切なポイントになると思います。第4回の会議で委員から出てきたまちづくりのアイデアは67件！グループワークでまとめた課題解決の事業を紹介します！いずれも知らせる、つながる、巻き込む視点を盛り込んだぜひ実現したい事業です。



1 班

テーマ：市民の意識向上

「飛び込め！のり込め！まちづくり！」

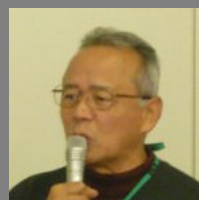
目的：まちづくりの活動を知ってもらい、人の輪や活動の輪を広げ、活動の楽しさを伝える。

内容：まちづくりを進める上での協力体制の模索。たくさんの人を巻き込む。まちづくり体験を人の集まる場所でPRする。

課題の原因：まちづくりへの意識が低いので、情報を投げかけても伝わらない。活動をする人は限られ、多くの人知らない、広がらない、楽しめない。



みんなができることを提供する。子どものうちからまちづくりやボランティア活動を体験できる機会づくり。



「楽しい」がキーワード！
楽しいことをやりたいと思うと主体的に責任を持って動ける。

個人情報保護の弊害もある。まずは、集会を重ねることにより、顔の見える関係づくり。

安心・安全を掘り下げる住民の意識改革の必要性がある。

2 班

テーマ：安心・安全

「防災でまちづくり人づくり」

目的：自治会の活性。コミュニティの確立。安心安全なまちづくり。

内容：災害がまちに起こった事を想定して、地域にどんな人たちがいるのかを把握する。

課題の原因：便利な世の中になり、人と人のつながりが少ない。自然環境など地域の状況も知らない。コミュニケーションがない。

安心・安全マップづくり

地域の特色を生かしたマップをつくり、知らない人に知らせていく。そのための調整役・コーディネーターが必要。

寄附金基金から市民の主体性を支援していく。市民の協働づくりファンドなど、ある程度のしくみを行政が考えて架け橋になってもらいたい。

3 班

テーマ：市民の意識改革

「生活ニース改善事業」

目的：行政への依存度が高く、なんとかしてくれると思う受身の市民の意識変革。

内容：一人ひとりが参加できる内容の講座。体験・体感から味わう意識づくり（マップをつくり自治会同士の交流。市内の山間部と臨海部の市民の交流ホームステイ）など。

課題の原因：生活観の違いから、自分本位の時間ばかりを持ち、他のことに目を向けない。全て行政に任せちゃっている。

